

ザ・2020ビジョン コモンズレター

追加型投信 / 国内 / 株式



運用責任者メッセージ

5月の内外株式市場は、インドなどアジアの一部地域を除くと世界的な株高となりました。特にNYダウが初4万ドル台に乗るなど、米国株の上昇が顕著でした。NVIDIAが再度、市場予想を上回る決算を発表し大いに注目を集めました。一方、国内株式市場においては、3月期企業の決算発表が終了しましたが、2023年度の決算は市場予想を超えたものの、2024年度の業績予想がとても慎重で市場を落胆させました。加えて、為替介入があっても円安傾向は大きく転換せず、海外投資家が手掛けにくい環境でした。業種別では東証33業種で、保険業、その他製品、電気・ガス業が騰落率上位、不動産業、陸運業、パルプ・紙が下位となりました。

4月は米国の利下げ観測が後退したことから成長株に対する期待値が下がったことで当ファンドも下落率が大きくなりましたが、当月は、決算発表を受けてしっかりと反発しています。小型成長株のグロース市場が続落する中での、この反発は意義があります。引き続き、変化をキーワードに銘柄選択を頑張ります。当月は、次の展開を睨んで3銘柄の入れ替えも行っています。どうぞ、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2024年5月運用報告動画もぜひご覧ください

<https://youtu.be/R7t9ZhZ7oMA>





基準価額の推移

2013年12月27日 ~ 2024年5月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2013年12月27日 ~ 2024年5月31日

基準価額

27,420 円

(前月末比)

+1,063 円 (4.03%)

純資産総額

89.0 億円

(前月末比)

+3.5億円 (4.20%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	4.03%
3ヵ月	△1.54%
6ヵ月	12.61%
1年	17.06%
3年	12.97%
5年	86.43%
10年	172.54%
設定来	177.77%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2019年12月	120円
2020年12月	150円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
設定来合計	270円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	97.2%
その他	2.8%

市場別比率

東プライム	81.0%
東グロース	10.2%
東スタンダード	6.0%
その他	2.8%

業種別比率

情報・通信業	20.7%
電気機器	16.2%
サービス業	14.0%
小売業	8.3%
化学	7.5%
卸売業	6.9%
その他製品	6.0%
輸送用機器	4.6%
非鉄金属	3.1%
不動産業	2.7%
食料品	2.0%
建設業	1.8%
その他金融業	1.6%
機械	1.5%
その他	2.8%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	銘柄概要	組入比率	
1	デクセリアルズ	化学	1962年にソニーケミカルとして創業、2012年にソニーから独立し現社名に。従来はモバイルITのディスプレイ材料がコア事業で、業績が安定しないイメージが強かったが、現在の新社長が社長に就任した2019年以降、大胆な経営陣の若返りを図るとともに、注力する差異化技術製品への経営資源のシフトを進めた結果、事業ポートフォリオが劇的に変化して高成長・高収益企業に転換。	4.1%
2	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	三越伊勢丹HDは、国内20店舗・海外27店舗の百貨店を中核に据えながら、クレジット・金融など幅広い事業を営む。長期的に目指す姿は、「お客さまの暮らしを豊かにする、“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」。特に、伊勢丹新宿本店は徹底的にファッションを追求し、三越日本橋本店は伝統・文化芸術・暮らしを強みとした店舗を構築。	4.0%
3	サンリオ	卸売業	1960年の創業以来の理念は「みんななかよく」。ハローキティ、シナモロール、クロミ、ポムポムプリンなど、世界中で愛されるIP（キャラクターなどの知的財産）を豊富に保有し、物販事業、ライセンス事業、テーマパーク事業などを手がける。組織風土改革および構造改革、成長に向けた種まきで、未来への創造と挑戦を続ける。	3.5%
4	レーザーテック	電気機器	1960年創業、半導体関連検査装置の開発、製造、販売、サービスの提供を主軸とするメーカー。“強さが発揮でき、成長できる分野に経営資源を集中する”との経営方針の下、ニッチ市場に特化し、技術力を背景に高いシェ	3.4%

アを獲得。半導体の微細化など半導体製造工程の複雑化につれて需要拡大が見込まれ、業績拡大フェーズ入りへ。

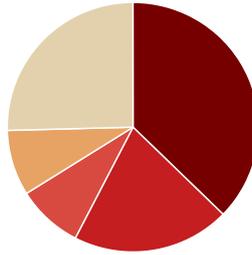
5	メイコー	電気機器	プリント配線板製造国内最大手グループ。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。更なる需要拡大を見据えて設備投資も活発化。	3.2%
6	任天堂	その他製品	1889年創業。1980年、任天堂初の携帯型ゲーム機「ゲーム&ウオッチ」を発売。1983年、家庭用テレビゲーム機「ファミリーコンピュータ」を発売。ハード、ソフト一体で世界に発信。その後、「ゲームボーイ」、「ニンテンドーDS」、「Wii」、「Wii U」、2017年、持ち運べる家庭用テレビゲーム機「Nintendo Switch」を発売。目指すのは、「娯楽を通じて人々を笑顔にする会社」。	3.0%
7	松屋アールアンドデイ	輸送用機器	AI Sewing(縫製)Robotの開発を通して日本版Industry 4.0(製造現場の自動化・デジタル化を指す)を行うリーディングカンパニーとして、縫製業界の日本回帰を促し日本の製造業の活性化に貢献することを事業目標として掲げる企業。AI画像認識等の自社の強みを生かした幅広い事業展開で存在感を増しつつあり、チャイナプラスワンの顧客ニーズに応えるべくベトナム生産体制を構築。	3.0%
8	TDK	電気機器	大手電子部品メーカーの一角。磁性材料「フェライト」の工業化を原点とする素材技術からスタートし、今では、電子部品や磁気応用製品を製造。ヘッド、バッテリー、磁石、受動部品をコアに、電子部品事業を軸足として市場の求めるソリューションにより、大きく飛躍することを目指している。今後の需要拡大が期待される車載用や民生用などのセンサ応用製品の領域に注力。	2.9%
9	KADOKAWA	情報・通信業	1945年創業。企業スピリットは、変化を恐れずに挑戦し続ける心。文芸出版社の時代、文庫と映画のメディアミックスの時代、雑誌の時代などで存在感を発揮。2014年にドワンゴと経営統合、「ニコニコ動画」などドワンゴのプラットフォームとKADOKAWAのコンテンツを融合、デジタルコンテンツ・プラットフォーマーとして、中長期的な成長を目指す。	2.8%
10	コナミグループ	情報・通信業	1970年代初期のアミューズメント機器（アーケードゲーム）の製造販売から始まり、家庭用ゲーム機向けコンテンツの制作、モバイル端末向けモバイルゲームの制作・配信を開始。ゲーム事業の特徴は、野球やサッカーといったスポーツ系に強い。また、スロットマシンやカジノマネジメントシステムの開発・製造・販売、スポーツクラブの運営および公共スポーツ施設の管理運営なども手がける。	2.7%

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。
 ※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
 ※その他とは現金等を指します。
 ※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



時価総額別構成比

時価総額別構成比



● 1000億円未満：37.3% ● 1000億円以上3000億円未満：20.3% ● 3000億円以上5000億円未満：8.5%
 ● 5000億円以上1兆円未満：8.5% ● 1兆円以上：25.4%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



市場概況

5月前半の日本株市場はもみ合いとなりました。1日は米連邦公開市場委員会を前に下落して始まりましたが、パウエルFRB議長が結果発表後の会見で、利上げの可能性が低いことに言及したことで米長期金利が低下、さらに3日に発表された米雇用統計が市場予想を下回ったことで米利下げ期待が高まり米国株が上昇しました。その結果、連休明けの7日に日経平均株価は大幅高となりました。しかし、以降の本格化した3月期決算企業の本決算で、今期業績見通しがサプライズに乏しい内容であったことや、米消費者物価指数の発表を控えて様子見ムードから方向感を欠く展開が続きました。

後半に入ってから、15日に発表された米消費者物価指数が市場予想を下回ったことで米利下げ期待が高まり米国株が上昇、翌16日の日経平均株価も大幅高となりました。その後は日銀の金融政策正常化に対する思惑から国内の長期金利が上昇し、日経平均株価は39,000円をはさんで上値の重い展開が続きました。月末にかけては、10年債利回りの上昇とともに株価も下落基調となり、30日に13年ぶりに1.1%を上回ったことで日経平均株価は一時38,000円を割り込み大幅安となりましたが、翌31日は全世界株指数の構成銘柄見直しに伴う売買から反発し、日経平均株価は前月末比82円高（+0.21%）の38,487円で取引を終えました。



運用状況

5月、当ファンドは+4.03%の上昇となりました。組入上位銘柄の騰落率では、三越伊勢丹HD+46.73%、メイコー+36.10%が上位2銘柄、サンリオ▲9.22%、松屋R&D▲7.02%が下位2銘柄となりました。また、組入銘柄の中では5%以上上昇した銘柄が20社ありパフォーマンスに貢献しました。上場来高値を更新した銘柄は7社、年初来高値を更新した銘柄も17社ありました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.16%、日経平均株価は+0.21%の上昇、東証グロース市場250指数は▲4.47%の下落となりました。

なお、当月、ポートフォリオ組入銘柄数に変化はなく59社となりました。株式組入比率は97.2%（前月末比▲1.2%）としています。

◆2024年5月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/R7t9ZhZ7oMA>

2024年5月運用報告動画





コモンズPOINTからのお知らせ

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみコモンズPOINTでは現在、一般社団法人日本障がい者乗馬協会（以下、JRAD）を応援しています。

JRADについて→<https://jrad.jp/>

コモンズPOINTについて→<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

【コモンズフェスタに河野事務局長、稲葉選手が参加】

5月12日に開催したコモンズ投信15周年イベントコモンズフェスタにて、JRAD河野事務局長が寄付先となった一年の振り返り、活動報告をしていただきました。

（参加者の感想の声）

- ・応援してよかったとおもえました。
- ・乗馬を通じたコミュニケーションの向上など、重要な取り組み、勉強になりました。
- ・私も乗馬をするので馬が人に対する心の変化に良い影響を与える事は分かります。しかし、中々普段の生活で馬に接する機会は少ないです。まして馬術となるとなおさらですが、競技の方を観たくなりました。
- ・パリ五輪では乗馬に注目します！



以下は、河野事務局長からの参加お礼のメッセージです。

「先日は大変貴重な機会にお招き頂きありがとうございました。貴社の素晴らしいお考えを改めて聞かせて頂き、社員の方々や顧客の皆様とface to faceでお話しさせて頂き、弊会にとっても貴重な機会となりました。そして、こどもトラストに選ばれるという大変光栄!!!な経験も大変嬉しかったです。」

懇親会には、稲葉将選手もご参加くださり、参加者のみなさまやスタッフと交流を深めていただきました。

当日の様子は同協会のInstagramでもご紹介いただいています。

https://www.instagram.com/p/C68JVZdy8ec/?img_index=1

同フェスタでは特別企画として、「こどもトラストセミナー・ファンドマネージャーになろう!」を企画し、小学生を中心とした32名が参加しました。
*詳しくはこちら→https://www.common30.jp/contents/event_report/4721/

グループに分かれて企業・団体のブースをまわった子どもたちは、最後、「自分たちのほしい未来のための応援先」を決めて発表しましたが、1グループがJRADを選びました。

子どもたちが選んだ理由は、「もし自分がその立場になった時（のをおもったり）や、障害の有無にかかわらず馬に乗せてもらえたり、スポーツをさせてもらえたりするから」です。



ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子

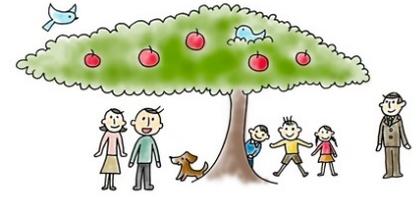


お知らせ

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>



◆2024年5月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/R7t9ZhZ7oMA>

□ commons SEEDCap 歴代の先輩を掘り下げよう企画 vol.1!
commons SEEDCap 第15回記念対談イベント

6月11日 (火) 20:00~21:30



□【完全攻略】MY commons の使い方/つみたて編
~つみたて金額の変更~

6月12日 (水) 18:30~19:00



□ こどもトラストセミナー おかねの教室
「おかねの4つの使い方~つかう・ためる・ふやす・きふする~」

6月16日 (日) 09:30~10:15



□ NISAの活用方法と commons のファンド

6月13日 (木) 20:00~20:30

□ commons の視点~企業のミカタ~
SMCのご紹介

6月25日 (火) 20:00~20:30

□【新オフィスで初開催!】くつろぎBAR

6月19日 (水) 18:00~21:00

※詳細は commons 投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画を [YouTube「COMMONSTV」](#) にて配信しております。
ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします! ☆



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	関東財務局長 (金商) 第195号	日本証券業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	○	○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第32号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第164号	○	○		
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○	○
京都信用金庫	登録金融機関	近畿財務支局長 (登金) 第52号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第134号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○			

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



ザ・2020ビジョンのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ザ・2020ビジョンの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/国内/株式
	信託設定日	2013年12月27日
	信託期間	無制限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	(コモンズ投信の場合) 1万円以上1円単位 (委託会社が指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	換金申込受付日の基準価額
	換金単位	(コモンズ投信の場合) 1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。また、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒107-0062
東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-5860-5706
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>